

2026 年 8 月 31 日
商 工 中 金

量子中継器システムの開発を手掛けるスタートアップ LQUOM 株式会社を金融面からサポート

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）のスタートアップ営業部は、LQUOM 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表者：新関 和哉）に対し、研究開発に必要な資金として 1 億 3,000 万円の融資枠を開設しました。

同社は、横浜国立大学発のスタートアップで、量子インターネットの実現に向けた量子中継器（※1）システムの開発を手掛けています。NEDO（※2）の「ディープテック・スタートアップ支援事業」に採択されるなど、量子中継器システムの実用化に向けた研究開発を進めています。

※1 長距離の量子通信を実現するために必要となる、量子情報を中継する技術

※2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

今回同社は、調達した資金を活用し、量子通信技術の社会実装に向けた研究開発を進めることで、更なる事業成長を目指します。

商工中金は、経営者や関係機関へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。同社の取組みは、量子技術を用いた次世代通信基盤の構築に貢献するものと考え、本融資契約を締結しました。なお、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に則り、無保証としています。

商工中金は、革新的な製品・サービスにより社会課題を解決しようとするスタートアップ企業の皆さまのサポートを通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【LQUOM（ルクオム）株式会社の概要】

所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
代表者	新関 和哉
資本金	1 億円
従業員数	18 人（2026 年 7 月現在）
設立	2020 年 1 月
業種	量子通信システム、量子中継器および関連技術の研究開発



【同社製品（共振器内蔵型量子光源）】